日高PTA便り

発行所
日川高校ＰＴＡ
事務局
山梨市一町田中

コロナ禍での三年間

ＰＴＡ会長　姫野敏樹

日川高校から旅立つ卒業生の皆さん、そして保護者の皆さまご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

保護者の皆さまには、コロナ禍での三年間ではありましたが、積極的にＰＴＡ活動へご協力をいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

三年前を思い出しますと、新たな高校生活に思いを馳せ、日川高校への入学を楽しみにしていた矢先、国内でも新型コロナウイルスの感染が爆発的に拡大しました。入学式が中止を余儀なくされるどころか、感染を防止するため全国で一斉に臨時休校の措置が取られ、五月の末まで登校すらできない、正に前代未聞の事態となってしまいました。

それに加えて、新型コロナが社会に与える影響は日に日に大きくなり、保護者の皆さまも、自分たちの生活がこれからどうなってしまうのか、不安を募らせながら過ごしていたことと思います。

三年の月日が経ち、世界はこの感染症を様々な方法で克服しようとしています。コロナ禍の高校生活は制限も多く、また我慢を強いられることも多かったと思います。いままで当たり前だったことの多くが「当たり前」ではなくなった日常のなかで迎え、過ごした高校生活。

しかし、保護者の皆さまも生徒の皆さんもこの三年間の変化を肌で感じ、コロナ禍だからこそ学べたことが、数多くあったのではないかと思います。その根幹には人間のやさしさがあります。思いやりの心、逆境を跳ね返す力、応援してくださる多くの方々、コロナ禍だからこそ、より一層人のやさしさに気づけたのではないでしょうか。

高校生活の三年間は、人生に於いては短い期間ですが、子供たちが成長する過程でこれからの人生を左右する大切な時期でもあります。そしてこの短い三年間で逆境をバネに、子供たちは大きく成長したと思います。

最後に、卒業式が「あたりまえに」挙行できることを心から嬉しく思います。保護者の皆さまも、入学式が中止になった分、感慨もひとしおのことと思います。

これもひとえに、橘田校長先生を始め、教職員の皆さまのご指導の賜物です。子どもたちのことを常に一番に考え、自身の時間を割き、コロナ禍で大変な難局を今日まで導いてくださいました。誠に感謝の念に堪えません。本当にありがとうございました。

晴れの卒業を迎えますが、卒業生も保護者の皆さまも、これからも笑顔溢れるこの学び舎、この時を思い出してください。

四鳥の別れ

校長　橘田　浩

卒業生の保護者の皆様には、この佳き日を迎えられましたことに心よりお祝い申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解御支援を賜りましたことに感謝申し上げます。

さて、世阿弥の子である観世十郎元雅の作と言われる謡曲『隅田川』に、「四鳥の別れ」という言葉が出てきます。この曲は現在でも各地の能舞台で上演が続けられる名作ですが、国語の教科書にも掲載されるわりには、その話の筋を知る人は少ないだろうと思われます。「四鳥の別れ」は、生き別れた我が子を捜して東国を旅する母（シテ）が登場する段に出てきます。

千里を行くも親心、子を忘れぬと聞くものを。もとよりも、契り仮なるひとつ世の、契り仮なるひとつ世の、そのうちをだに添ひもせで、ここやかしこに親と子の、四鳥の別かれこれなれや。尋ぬる心の果てやらん、武蔵の国と、下総の中にある、隅田川にも着きにけり、隅田川にも着きにけり。

それでは「四鳥の別れ」とは何でしょうか。岩波の大系本の注は、「親子生別の悲哀の譬え」として、『孔子家語』顔回篇の次の一節を出典に挙げています。

回聞く。桓山の鳥、四子を生む。羽翼既に成り、将に四海に分かれんとす。其の母悲鳴して之を送る。と。

あるとき、孔子の弟子である顔回が耳にしたのは、我が子と別れる際に母親が発した悲しみの泣き声でした。桓山の母鳥の声と同じ悲しみを帯びているためにそれとわかったのです。桓山の四羽の雛鳥は、羽翼が生え揃って四海に雄飛しようとしたのです。それでもなお、これまで雛鳥を守り育ててきた母鳥には、耐え難い別れの悲しみでした。

さて、卒業生はまさに羽翼が生え揃って四海に雄飛しようとしています。就職に、進学に、日川高校で学び、鍛えた、大きな翼で旅立とうとしています。この卒業は、これまでの学習で、部活動で、十分に力を蓄えたうえでの、待ちに待った旅立ちです。その飛び立とうとする空には一点の曇りもありません。ここは、やはり一抹の寂しさは覚えたとしても、未来への大いなる期待とともに、その雄飛を見届けるのが良いように思います。

最後になりますが、卒業生の保護者の皆様のＰＴＡ活動への御協力に対しまして深く感謝申し上げ、結びといたします。

謝辞

三年次主任　古明地　隆

卒業生の保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。お子様がこの三年間、様々な体験をして立派に成長し、ここに卒業を迎えられましたこと、お喜びもひとしおのことと拝察いたします。

三年前、安倍元首相の一斉休校の要請があり、四月の入学式を迎えられないまま、六月の分散登校でようやく学校生活がスタートしました。その後、コロナの影響もありながら、スキー・スノーボード教室、学園祭、応援練習、修学旅行、強歩大会など主要な学校行事を体験することができました。多くの制約がある中で、無事、諸行事を行うことができたのも、生徒が自覚ある行動をとったことが大きな要因だと思っています。

私自身の話で申し訳ありませんが、この三月で定年となり、教員を退職する運びとなりました。お子様とともに卒業を迎える形となります。三六年前に新採用で当時、事実上の女子高であった山梨高校に赴任し、日川高校で退職を迎えるということで、東山梨に縁があると実感しています（父親は牧丘出身）。教員生活を振り返ると、さまざまな生徒、先生方また多くの人たちとめぐりあい、私自身、大きく成長することができました。とくに初任校の山梨高校で飯島昭三先生に出会い、教員のイロハを教えてもらったことが私の根っこになっています。また、バレーボールに誘っていただき、当時、県ベスト４であった山梨高校女子バレー部の副顧問として飯島先生からバレーの指導方法を教わり、バレー指導者としての基礎を築くことができました。定年を迎えるまでバレー顧問を続けることができたのも、飯島先生のおかげだと思っています。飯島先生のように存在感ある教員になることができたのか、はなはだ心もとないのですが、思い返すと常に飯島先生の影を追っていたように思います。

この三年間はこれまでの人類の歴史でも経験のない日々でした。この期間を乗り切った卒業生は、これから迎える困難も必ずや乗り越えることができるでしょう。卒業生の皆さんの今後の活躍を心よりお祈りします。そして保護者の皆様、これまでのご支援、ご協力、本当にありがとうございました。

吾等が胸に希望あり

ＰＴＡ副会長　早川　賢一

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんにとって、高校三年間はいかがでしたか。友や恩師との出会い、思い出は、一生の宝になったと思います。先の見えないコロナ禍での三年間を乗り越え、今日を迎えたのです。この貴重な経験は今後の糧になることでしょう。

いよいよ門出です。様々な環境の変化が待っていることでしょう。その期待と不安の先には、可能性を広げる沢山の好機が待っています。様々なことに挑戦し、自分をさらに成長させてください。皆さんのことをずっと応援している家族、先生方がいることを忘れず、高き理想を胸に、新しい世界へ羽ばたいていってください。

保護者、ご家族の皆様におかれましては、卒業を迎え、さぞお慶びのことと思います。皆様のお支えのもとＰＴＡ活動を進めることができ、今年は日川高校伝統の強歩大会も実施することができました。ご協力誠にありがとうございました。今後は成人として歩みだした子どもたちを信じ、さらなる成長を楽しみに、見守り支えていきましょう。

最後となりましたが、校長先生をはじめ、先生方におかれましては、熱心なご指導を賜り、深く感謝いたします。先生方が、コロナ禍の中の教育活動において、可能性を探り、創意工夫する姿を生徒に見せ続けてくださったことが、すばらしい教えとなりました。まさに校歌にある「吾等が胸に希望あり」の言葉通りでありました。お陰様で子どもたちは、今後につながる大切な学びや思い出を得ることができました。本当に感謝しております。今後も子どもたちの未来を見守っていただけますようお願いいたします。

無難な人生より有り難い人生

ＰＴＡ副会長　髙橋いづ美

花々の咲きほころぶ季節、卒業生の皆さん、ならびに保護者の皆様ご卒業誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

思い起こすと入学式が挙行されないまま、高校生活の大半をコロナ禍で過ごした今年の卒業生たち。制約の多い日々を過ごし、思い通りにならないストレスや先行きの見えない不安を抱えてきたことと思います。しかし皆さんは置かれた状況を悲観せず、前例のない手探りの中で、新しい取り組みや創意工夫した活動を実践してきました。

「難が無いのは無難な人生、難が有るのは有り難い人生」という言葉が私は好きです。コロナ禍で出来なかったこと、失われた時間にばかり目を向けず、乗り越えてきたすべての困難が自分たちの成長に繋がっているはずです。そして困難を乗り越えた経験は更なる困難に直面したときに必ず自分を助けてくれる力となるでしょう。これからの人生はすべて自分次第です。勇気と希望そして何事にも感謝の気持ちを忘れずに、自信をもって歩んでいってください。私達は皆さんのことをずっと応援しています。

最後に校長先生はじめ、先生方におかれましては、この三年間温かく情熱あふれるご指導を賜り、誠にありがとうございました。また、ＰＴＡ活動にご協力いただきました保護者の皆様にも心より感謝申し上げます。